

(1) 単元名： 思いを見つめて読む

「きつねの おきゃくさま」 教育出版

(2) 本時の目標： 場面ごとにきつねの行動を読んで、お話のあらすじをまとめよう。

「教頭先生、楽しい授業になりそうですよ。」授業者から私に声がかかった。前回5月に説明文「すみれと あり」(RシートNo.121)を参観させてもらった。子ども達の「読み」と授業者の準備に圧巻した授業であった。今回は文学教材である。先日も教室の前を通りかかるといつもの素敵な2年生らしいとってもかわいい音読の声が聞こえてきた。私が文学教材で大切にしている視点がある。授業者の分析や解釈、「教えたいこと」よりも、子ども達がどう「読む」のかを大切にしてほしい。子どもの感性、子どもの考えを最大限に尊重してほしい。



【9月30日(火) お話のあらすじをつかむ(第3時)】

[授業開始]： 淡々と始まる。実にいい。授業者は静かであるが、子ども達の表情が抜群にいい期待は大きい。

写真①、開始前に子ども達とちょっとした会話がある。ここでも授業者の聴いてあげる「受け入れる」が笑顔と一緒に発せられる。子ども達も安心しきって「語る」。→チャイムが鳴る。子ども達にスイッチが入る。決して身構えることなくゆったりしている。写真②、本時は全文音読から、お話のあらすじ(だいたい)をみんなでおさえることがめあてである。授業者は、めあての確認後、今日の授業の流れを確認し、授業を進める。授業のおよその流れは、「ホップ→ステップ→ジャンプ」で示す。授業者の言葉が柔らかい、無理を感じない、授業者の言葉が子ども達の心に確実に届いていることが確認できる。「ききなさい」「わからせたい」そんな言葉や姿勢は授業者から全くうかがうことはできない。授業者の日常がはっきり見える。



写真①



写真②

「ホップ→ステップ→ジャンプ」で示す。授業者の言葉が柔らかい、無理を感じない、授業者の言葉が子ども達の心に確実に届いていることが確認できる。「ききなさい」「わからせたい」そんな言葉や姿勢は授業者から全くうかがうことはできない。授業者の日常がはっきり見える。

[読む] 音読
このクラスの子どもの読みは圧巻である。本時は第3時であるが、すでに本を見ないで読んでいる子が数名いる。各々の読み方が大切にされている。



[お話の順序を教科書の挿絵を使ってペアで話し合う]



写真③



写真④



写真⑤

写真③、授業者の準備がいい。挿絵を基に、お話の順序やあらすじをペアで話し合うように仕向けた。授業者はあえてペアに1セットのシールを配布した。自然と向かい合ってお互いの考えを語ることになる。みんな夢中で語る。

授業者のこの準備と、授業デザインに脱帽である。子ども達はほんとに楽しそうに協同に向かっている。とり残される子は一人もいない。

[お話のあらすじを授業者が確認する] → どうですこの準備！ 圧巻 本日も研究授業でも何でもありません。授業者の日常です。



授業者の「うまさ」が光る。あらすじの重要語句は子ども達の声で埋めていった。下の写真、夢中になって聴く、語る子ども達である。



[授業終末]

シールをお話の順序に沿ってノートに貼る。ちゃんと順序よく並べられるか？今日の学習のまとめである。ここでも、訊き合う、支え合うが違和感なくかわされる。→日常である。



【10月8日（水）きつねは なぜまもりたかったの？ （第6時）】

「きつねの おきゃくさま」クライマックスになるだろうか。子ども達も夢中になって自分の考えを語る。授業者は、前時までの内容を少し振り返り「きつねさんは、何でこわいオオカミさんとたかったの？」ペアに下ろす。語る…語る。 ブツブツ ポソポソ・・・みんながお話に入っている。



〔書き込み〕



書き込みは、教師の解釈や分析の「分かってほしいこと」に向けられると子ども達は教師の答えてほしいことの「答」探しを始めて、自分の思ったことを語らなくなってしまうことがちょっと心配になります。

子ども達の自由な発想や感性を大切にしてくださいね。（右写真参照）

ほとんどが、子どもの目線、子ども達の声・言葉である。

〔最後の問い：「きつねさんは、なぜ？ あひる・ひよこ・うさぎさんを まもりたかったんだろう。」〕

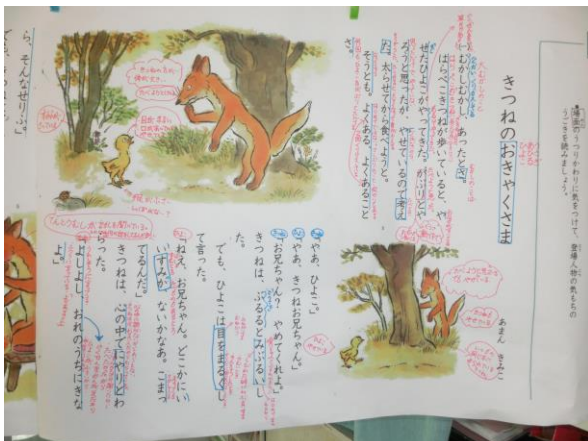


当然子ども達は2分する。

- ☆1 せっかく食べるためにここまで育てたのに、オオカミに横取りされたくない。
- ☆2 最初は食べるつもりだったけど…かわいくなって…愛情が出てきて…守りたいと思った。

子ども達にも言い分がある。「せっかく食べるために…」がある。近くの仲間とお互いの考えをすり合わせる。

女の子のつぶやきの中に「愛情」という言葉が出てきたのには私も驚きであったが、おそらく、お家での日常で家族の中で交わされている言葉であろう。授業最終まで「絶対に食べるためにだ」と譲らなかつた男の子が6名いた。さしみと、丸焼きと、汁にすると具体的に考えていた・・・それでいい。



この書き込みから何が学べますか？

